



2022年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年11月11日

上場会社名 株式会社 eWeLL 上場取引所 東
 コード番号 5038 URL https://ewell.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 剛人
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 北村 亜沙子 TEL 06 (6271) 9333
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第3四半期の業績 (2022年1月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	1,157	-	546	-	529	-	364	-
2021年12月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	55.20	54.59
2021年12月期第3四半期	-	-

(注) 2021年12月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、2021年12月期第3四半期の数値および2022年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	1,448	1,015	70.1
2021年12月期	1,061	504	47.5

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 1,015百万円 2021年12月期 503百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	-	-	-	0.00	0.00
2022年12月期	-	0.00	-	-	-
2022年12月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年12月期の業績予想 (2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,568	31.5	596	48.3	576	42.8	389	14.3	58.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
 業績予想の修正については、本日 (2022年11月11日) 公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期3Q	6,939,500株	2021年12月期	6,307,500株
② 期末自己株式数	2022年12月期3Q	一株	2021年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期3Q	6,605,722株	2021年12月期3Q	一株

(注) 1. 2021年12月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数は記載していません。

2. 当社は、2022年6月15日付で普通株式1株につき15株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（2022年1月1日から2022年9月30日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するリスクは依然存在するものの、入国制限の一部解除など経済に与える脅威は後退しつつあるなか、年初より発生しているロシア・ウクライナ情勢の地政学リスクも影響し、近年まれにみる円安の進行、また輸入品を中心に価格が上昇するなど依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、「ひとを幸せにする」との経営理念のもと、中期経営計画（2022年1月～2024年12月）においてこの期間を「来るべき2025年問題を迎えた時、当社が在宅療養のプラットフォームとなるための準備期間」と位置付け、事業の拡大と収益性の向上に取り組んでおります。

当第3四半期累計期間の経営成績は、主力サービスの「iBow」の新規顧客獲得および「iBow事務管理代行サービス」の事業の確立に注力し、売上高は1,157百万円、営業利益は546百万円、経常利益は529百万円、四半期純利益は364百万円となりました。

当社は、訪問看護ステーション向けサービス提供事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。売上高をサービスカテゴリー別に示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

会計期間	売上高						計	営業利益
	クラウドサービス			BPOサービス		その他		
	iBow	iBow レセプト	iBow KINTAI	iBow事務 管理代行 サービス	その他			
当第3四 半期累計 期間	1,009,438	69,189	642	67,689	120	10,497	1,157,577	546,176

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,286百万円となり、前事業年度末に比べ419百万円増加しました。これは主に、公募増資および売上高の増加による現金及び預金の361百万円増加、売上高の増加に伴い売掛金が58百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は161百万円となり、前事業年度末に比べ32百万円減少しました。これは主に、東京オフィス移転に伴い有形固定資産が9百万円増加、iBow機能追加等により無形固定資産が11百万円増加、投資その他の資産「その他」が53百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は1,448百万円となり、前事業年度末に比べ387百万円の増加となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は260百万円となり、前事業年度末に比べ120百万円減少しました。これは主に、流動負債「その他」が55百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は172百万円となり、前事業年度末に比べ3百万円減少しました。これは主に、長期借入金の一部を1年内返済予定の長期借入金に振替えたことによるものであります。

この結果、負債合計は432百万円と前事業年度末に比べ124百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は1,015百万円となり、前事業年度末に比べ511百万円増加しました。これは主に、公募増資および新株予約権の行使により、資本金が73百万円、資本剰余金が73百万円増加し、また四半期純利益の計上により利益剰余金が364百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の47.5%から70.1%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の業績が好調に推移していることを踏まえ、2022年12月期通期の業績予想につきましては、前回発表（2022年9月16日付「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」）の業績予想を変更し、2022年11月11日に「通期業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	617,068	978,837
売掛金	241,123	300,041
その他	10,694	9,807
貸倒引当金	△1,635	△1,722
流動資産合計	867,250	1,286,963
固定資産		
有形固定資産	20,185	30,179
無形固定資産	81,800	93,119
投資その他の資産		
その他	93,771	39,812
貸倒引当金	△1,728	△1,557
投資その他の資産合計	92,043	38,254
固定資産合計	194,028	161,553
資産合計	1,061,279	1,448,517
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,364	11,845
1年内返済予定の長期借入金	4,560	4,180
未払法人税等	64,402	82,057
役員賞与引当金	60,000	—
賞与引当金	47,764	20,091
その他	197,972	142,041
流動負債合計	381,063	260,216
固定負債		
長期借入金	176,060	172,640
固定負債合計	176,060	172,640
負債合計	557,123	432,856
純資産の部		
株主資本		
資本金	252,195	325,907
資本剰余金	244,195	317,907
利益剰余金	7,220	371,846
株主資本合計	503,611	1,015,660
新株予約権	544	—
純資産合計	504,155	1,015,660
負債純資産合計	1,061,279	1,448,517

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,157,577
売上原価	240,700
売上総利益	916,876
販売費及び一般管理費	370,700
営業利益	546,176
営業外収益	
受取利息	6
受取手数料	3,386
その他	600
営業外収益合計	3,992
営業外費用	
支払利息	4,336
上場関連費用	15,656
その他	310
営業外費用合計	20,302
経常利益	529,866
税引前四半期純利益	529,866
法人税、住民税及び事業税	112,666
法人税等調整額	52,574
法人税等合計	165,240
四半期純利益	364,625

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間において、公募増資および新株予約権の行使により、資本金および資本準備金がそれぞれ73,712千円増加しております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる四半期財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報)

当第3四半期累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

当社は、訪問看護ステーション向けサービス提供事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。